

～市川市がいまの形になったころ～
いちかわ昭和ノスタルジィ



京葉道路・原木インターチェンジ
(昭和40年)

京葉道路は昭和35年に江戸川区一之江ー船橋IC間、55年に千葉東JCTまでの全線が開通しました。現在、京葉JCTで東京外環自動車道との接続工事が進んでいます。



地下鉄東西線全線開業 (昭和44年)

市川市内の東西線はすべて地上部で、開通時に行徳駅が開業、その後、昭和56年に南行徳駅、平成12年に妙典駅が開業しました。



新行徳橋開通 (昭和47年)

行徳バイパス整備に伴い、行徳橋の下流側に有料道路として開通しました。その後、平成5年から無料化されています。



市川大野駅開業 (昭和53年)

当時の国鉄武蔵野線の新松戸ー西船橋間延伸に伴い開業しました。武蔵野線には、関東の鉄道では初めて開業当初から自動改札機が全面的に導入されました。



第18回
オリンピック
東京大会

昭和39年10月に開かれた東京オリンピック。開会に先立ち、聖火リレーが全国4ルートに分かれて行われました。



千葉県は北海道から南下する第4コースに属し、聖火は千葉方面から本市に入りました。



市内では、国道14号を東から西へ横切る形で通過した後、東端の江戸川にかかる市川橋で、東京都内を走るランナーへと引き継がれました。



また、昭和38年には、前年祭として「国土美聖火国民大行進」が行われ、市川市でも歓迎式が開かれました(左)。



市川松戸有料道路開通 (昭和43年)

市川松戸道路(県道180号松戸原木線)は、まず若宮ー大野町間で有料道路として供用開始され、3年後に全区間が開通しました。その後、平成12年から無料化されています。



総武線の高架化 (昭和45年)

総武線の市川駅(上)、本八幡駅(下)はかつて地上駅でしたが、昭和45年、総武線の複々線化に伴い高架化されました。



市 川 市 の あ ゆ み

昭和9年	市川町、八幡町、中山町、国分村の3町1村が合併し、市川市が誕生	平成元年	都営地下鉄新宿線開通
昭和10年	初の市議会議員選挙	3年	北総開発鉄道(現・北総鉄道)開通
昭和22年	市庁舎完成	5年	外かん道路の受入れを表明
昭和24年	地方自治法施行	6年	生涯学習センター(ステイアパーク市川)開館
昭和30年	大柏村を合併	9年	クリーンクリーン都市宣言
昭和31年	行徳町を合併	11年	コンビニで住民票取り次ぎサービス開始
昭和32年	行徳橋・行徳可動堰完成	14年	インターネットホームページ開設
昭和33年	行徳・南行徳両支所を行徳支所に統合	16年	家庭ごみの指定袋制、大型ごみ収集の有料化開始
昭和34年	里見公園開設	17年	住民基本台帳ネットワーク稼働
昭和35年	新市庁舎(現・第一庁舎)完成	18年	家庭ごみの12分別開始
昭和37年	市民会館開館	19年	市川市男女平等基本条例を議員発議で制定
昭和43年	京葉道路開通	20年	「市民マナー条例」制定
昭和44年	カリーナ市采・カリフォルニア州と姉妹都市締結	21年	大洲防災公園開園
昭和45年	市川松戸有料道路開通	22年	ローゼンハイム市(独)とパートナーシティ締結
昭和46年	地下鉄東西線開通	23年	行徳公会堂・市川七中行徳ふれあい施設開設
昭和47年	総武線高架化	24年	WHO「健康都市」宣言
昭和48年	第二庁舎完成	25年	「1%支援制度」開始
昭和49年	菅野終末処理場開設		市川市男女平等参画社会基本条例を議員発議で制定
昭和50年	地方卸売市場営業開始		第3回健康都市連合国際大会を開催
昭和51年	新行徳橋開通		アイ・リンクタウン展望施設開設
昭和52年	「市議会だより」創刊号を市広報の号外として発行		国道298号(外かん道路)国道部が暫定開通
昭和53年	市民憲章を制定		コンビニでの住民票等取得サービス開始
昭和54年	武蔵野線開通		広尾防災公園開園
昭和55年	第三庁舎完成		市政戦略会議を設置、「事業仕分け」実施
昭和56年	楽山市(中国・四川省)と友好都市を締結		東日本大震災
昭和57年	住民票関係事務をオンライン化		イッシー・レ・ムリノ市(仏)とパートナーシティ締結
昭和58年	核兵器廃絶平和都市宣言		クレジットカードでの税金・料金納付開始
昭和59年	市川市文化会館開館		
昭和60年	京葉線開通		
昭和63年			

○平成26年定例会開会予定日○

2月定例会	2月17日(月)
6月定例会	6月6日(金)
9月定例会	9月5日(金)
12月定例会	11月28日(金)

※定例会が開会される見通しの日程であり、事情により変更される場合があります。